

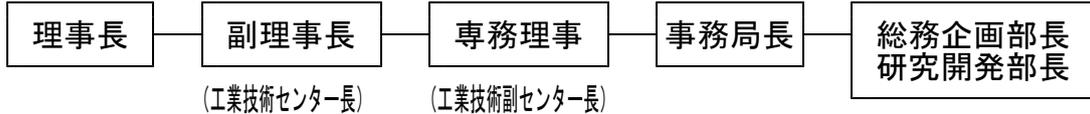
公益財団法人函館地域産業振興財団の概要について

(H24.9.9 専務理事 猪飼秀一)

1 概要

設立目的 昭和59年4月財団法人テクノポリス函館技術振興協会→平成23年4月公益財団法人認可(理事長 松本榮一函館商工会議所会頭)
 所在地 函館市桔梗町379番地(函館市テクノパーク内)
 管理運営 (1) 北海道立工業技術センター: 北海道の公設試験研究機関
 昭和61年10月北海道が設置
 (2) 函館市産業支援センター: 函館市のインキュベート機関
 平成10年4月函館市が設置

組織



研究グループ 応用技術支援、ものづくり技術支援、食産業技術支援の3G
 職員 40名(うち研究職 17名 研究補助 3名 H27.8 現在)

2 業務内容

(事業メニュー別支援機関)

技術開発機能	研究開発 各種依頼試験・分析 企業等との共同研究・受託研究	(工業技術センター) (工業技術センター) (函館地域産業振興財団)
人材育成機能	研修会等開催 技術者研修助成	(函館地域産業振興財団) (函館地域産業振興財団)
資金供給機能	研究開発助成 地域技術起業化助成	(函館地域産業振興財団) (函館地域産業振興財団)
販路開拓機能	出展助成	(函館地域産業振興財団)
地域相談窓口機能	技術相談 経営相談	(函館地域産業振興財団) (函館地域産業振興財団)
インキュベート機能	インキュベートルーム インキュベータファクトリー	(函館市産業支援センター) (函館市産業支援センター)

3 基金及び事業費

○基金造成状況 20億27百万円
 北海道、函館市、北斗市、七飯町、民間企業等の出えん

○財団の平成27年度予算(27.5.28) : 事業費4億41百万円
 [主な財源構成]・国 21百万円
 ・北海道 1億95百万円
 ・函館市等 1億46百万円

4 最近の主な表彰

○国
 ・平成23年度 経済産業省 ものづくり日本大賞 優秀賞 (真空パネル)
 ・平成20年度 文部科学大臣賞 函館マリンバイオクラスターの形成
 ・平成20年度 経済産業省 ものづくり日本大賞 地域貢献賞(アクアクッカー)
 ・平成19年度 経済産業省 ものづくり日本大賞 優秀賞 (錘)
 ○道
 ・平成26年度 北海道新技術・新製品開発賞 食品部門優秀賞(王様しいたけ乾燥品)
 ・平成25年度 北海道新技術・新製品開発賞 食品部門優秀賞(フコキサンチン1000)

- ・平成 25 年度 北海道新技術・新製品開発賞 ものづくり部門特別賞 (イカ活チャ器)
- ・平成 25 年度 北海道新技術・新製品開発賞 食品部門大賞 (ガゴメの滴)
- 民間・平成 25 年度 全国イノベーション推進機関ネットワーク会長賞 (北大のガゴメ昆布を活用した産学官連携事業)

5 研究交流協定

- 平成 21 年 6 月 10 日 北海道大学大学院水産科学研究院
- 平成 22 年 8 月 26 日 江陵原州国立大学東海岸海洋生物研究センター (韓国)
- 平成 23 年 1 月 13 日 国立台湾海洋大学食品科学部 (台湾)
- 平成 23 年 3 月 29 日 大連海洋大学海洋工程学院 (中国)
- 平成 26 年 10 月 6 日 財団法人全南生物産業振興院食品産業研究院 (韓国)

6 試験分析・技術相談・受託研究・共同研究の実績 (平成13年度～25年度累計)

区 分	累計	26 年度	25 年度	24 年度	23 年度	22 年度
試験分析	3,974 件	223 件	259 件	159 件	158 件	190 件
技術相談	7,719 件	422 件	404 件	440 件	388 件	437 件
受託研究	68 件	5 件	5 件	7 件	6 件	5 件
共同研究	330 件	27 件	19 件	12 件	16 件	16 件

7 最近の話題等

(1) 函館マリンバイオクラスター関係：文部科学省の予算、中核機関は函館地域産業振興財団

①経過

- 平成 15 年度～17 年度 都市エリア産学官連携促進事業 (一般型)
- 平成 18 年度～20 年度 都市エリア産学官連携促進事業 (発展型)
- 平成 21 年度～25 年度 地域イノベーション戦略支援プログラム (グローバル型)

②内容：北海道大学大学院水産科学研究院などとの産学官連携

- ・研究中核機関：北海道大学大学院水産科学研究院、北海道立工業技術センター
- ・参画企業：当初 13 社→120 社
- ・製品化：ガゴメ昆布等活用製品化 200 品目以上、累計の売上高約 100 億円
【試算：道内経済に及ぼす生産誘発額は 220 億円】
- ・ガゴメ昆布と真昆布の価格 (H27.8.20 函館入札 水産新聞)

尻岸内：がごめかしら	2,819 円	真かしら	1,338 円
東戸井：がごめ加長切 1 級	2,101 円	真加長切 1 級	1,328 円
銭亀沢：がごめ赤葉加	1,571 円	真赤葉加	755 円

(2) 技術支援と企業立地の例：

- ①(株)仁光電機 H25.7 函館テクノパーク 651 m²分譲、工場新設し操業。
 - ・集魚灯、水中音波装置の製造販売：電波暗室の利用
- ②(株)アクトシステムズ H26.3 函館テクノパーク 1,765 m²に新社屋建設し操業。
 - ・パワーエレクトロニクス機器の製造販売：電波暗室の利用
- ③サンフーズ H27.3 函館市亀田町に工場 (800 m²) 新設し操業。
 - ・シャーベット氷製造機の導入：技術指導案件
- ④道南伝統食品協同組合 H27.4 函館市臼尻町に工場 (500 m²) 新設し操業。
 - ・大型昆布乾燥機械の導入：技術指導案件

(3) 新幹線開業を控える函館市への研究拠点、事業拠点の進出支援

- ①(株)アサヒ (本社：東京都江東区) 制御システム開発・製造
- ②(株)ビックボイス (本社：東京都町田市) システム開発

- ③ナカ電子工業（本社：東京都東久留米市） ステンレス素材の商品開発
- ④コスモ・テクノロジー（本社：東京都杉並区）海洋生物の付着塗料の用途開発

(4) 研究開発・指導による製品化の主要例

- ①品質向上による食の安全安心
 - ・丸筒ようかん (江差町)
 - ・災害備蓄用缶入りパン (厚沢部町)
- ④未利用資源の製品化
 - ・がごめ昆布製品 (函館市など)
 - ・春採り昆布製品 (函館市)
 - ・根ぼっけ製品 (函館市)
 - ・アカモク由来フコキサンチン (函館市)
 - ・ダルスの製品化 (函館市)
 - ・ウニ味噌製品化 (鹿部町)
 - ・クルマバソウアイスクリーム (函館市)
 - ・アスパラ茎活用製品 (上ノ国町)
- ⑤研究開発による製品化
 - ・機能性ヨーグルト (函館市)
 - ・「海のカ」アスパラ (函館市)
 - ・業務用加熱機 (北斗市)
 - ・イカ活ちゃ器 (北斗市)
 - ・オール八雲の味噌 (八雲町)
 - ・冷凍ダツタンそば (七飯町)
 - ・乾燥しいたけ (七飯町)
 - ・藻場造成 (函館市、森町)
 - ・うらごし有機南瓜 (森町)
 - ・連続式シルクアイスシステム (釧路市)

(4) 貿易（輸出）の実現

- ①春採り昆布の台湾輸出
H26.3 153kg → H26.9 204kg → H27.8 400kg
- ②シャーベット氷活用による水産物のタイ輸出
- ③乾燥昆布のイギリス輸出への情報提供

(5) 金融機関との連携

- 日本政策金融公庫函館支店との事業連携：平成 24 年 3 月 1 日協定締結
- 北洋銀行函館中央支店との連携：平成 26 年 1 月 22 日協定締結

(6) 道南食と観光クラスター型 6 次産業化推進協議会の活動

国土交通省「平成 26 年度地域づくり活動支援整備事業」に採択

構成：渡島総合振興局、
北海道大学大学院水産科学研究院、
北洋銀行函館中央支店
公益財団法人函館地域産業振興財団（事務局）
支援：十分の十 上限 350 万円＝平成 26 年度の単年度限り
活動：観光資源としての「海藻」活用促進に向けたフォーラム開催 (H26.7.2)
海藻収穫・加工体験ツアー支援 (H26.9.13)
「函館の朝食に海藻を」月間イベント支援 (H26.11.29 ~ 12.26)
ガゴメ昆布を食べ歩く「ねばねばフードラリー」 (H26.11.29 ~ 12.26)
海藻を活用した新商品開発・販路拡大支援
6 次産業化事業の広報及びプロモーション支援

* 平成 27 年度は、協議会において構成する機関の取組みや活動について情
を共有し連携した推進を図ることや、情報発信を行う。